AIでつくる、
わたしたちのよりよい未来

SaQRA

ハッカソン詳細ホームページはこちら

がんサバイバーシップのための AIハッカソン

AIを介してアイディアを形にする新しい研究開発のかたち

参加費無料

- がんとともに生きる未来を支えるアイデアを形に
- AIやデータの力で社会に役立つ体験を
- 医療・リハビリ・看護・情報・一般の方など どなたでも参加OK!

2026 9.12(土)
13:00 ▶ 17:00（予定）

場所	国立がん研究センター　会議室
開催方法	現地参加 または オンライン（聴講のみの参加も可）
申込締切	8月28日(木) 17時までにお申し込みください

プログラム（予定）

13:00~13:10	開会の挨拶	本ワークショップの目的と流れを紹介します。
13:10~14:00（終了後休憩10分）	【講演①】	M.C.BOO様（株式会社ヘラルボニー）＋ 討論 ～見える障害と見えない障害、アートと音楽の力～
14:10~14:40	【講演②】	Google（AIサービスに関連して）
14:40~14:55	休憩(エクササイズ)	リフレッシュして発想を広げます！
14:55~15:55	アイデア整理	テーマを決めて、アイデアを整理・発展させます。
15:55~16:40	ブラッシュアップ	AIやデータの活用方法を考えながら、アイデアをさらに磨き上げます。
16:40~16:55	発表＆相互フィードバック	チームごと発表！参加者同士で学び合い、良いアイデアを共有します。
16:55~17:00	閉会の挨拶	まとめと今後の案内をします。
17:00~17:30	交流会(希望者のみ)	参加者同士でつながりましょう！

みんなでブラッシュアップする成果物

参加について

現地参加の方へ

- 事前に動画視聴、自己紹介用スライドの作成をお願いしています。
- 当日はパソコンをご持参ください。ネットワークは会場でご準備します。

オンライン参加の方へ

聴講のみの参加も大歓迎！
オンラインで気軽にご参加いただけます。

学生・社会人
AI初心者
どなたでも
大歓迎！

お申し込みはこちら

QRコード または URL
申込フォームより
お申し込みください

https://forms.gle/E9KPvFdM7JgZKeYv8

QOLや臨床研究、プログラミングに興味がある方はぜひご参加ください！

※現地参加30名オンライン参加200名まで

あなたのアイデアが、誰かの未来を支える力になります。
一緒に、新しい一歩を踏み出しましょう！

ファシリテーター
華井 明子 先生
千葉大学 大学院情報学研究院

作業療法士として緩和ケアリハビリテーションに従事後、京都大学大学院で支持療法の研究に取り組み学位を取得。現在は千葉大学大学院情報学研究院で、機械学習や大規模言語モデルを活用し、がんサバイバーの生活支援をデータサイエンスの視点から研究している。

◆運営事務局(お問合せ先)
SaQRA:saqra_contact@ml.res.ncc.go.jp
※プログラムは変更になる場合があります。

主催：日本がんサバイバーシップ研究グループ(SaQRA/国立がん研究センター開発費 2025-A-22)、千葉大学 大学院情報学研究院（公益財団法人トヨタ財団 50周年記念助成プログラム D24-HS-0211）